東北地方

名前

問1　東北地方の各県を比較した統計において、人口が約233万人と最も多く、製造品出荷額（約4.1兆円）や年間商品販売額（約1.2兆円）においても東北地方で最大の値を示している県はどこか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 宮城県
2. 岩手県
3. 福島県
4. 青森県

問2　山形県を流れる最上川の河口付近に位置し、江戸時代から稲作が盛んだった平野と、その拠点である酒田港から「西廻り航路」を通じて当時の経済の中心地へと米を運んだ際、その主な目的地となった都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 越後平野 － 江戸
2. 庄内平野 － 大阪
3. 庄内平野 － 江戸
4. 越後平野 － 大阪

問3　日本の東北地方南部に位置し、平均標高が226mで、西部に平野、中央部には火山とその南側に広がる猪苗代湖などの深い湖が見られる地域において、病害虫の影響が少ない東部で特に生産が盛んな農産物として正しいものを選びなさい。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. きゅうり
2. ごぼう
3. レタス
4. ピーマン

問4　山形県の日本海側に位置する庄内平野が、日本屈指の米どころとして発展した背景には、この地域特有の地形や水資源の条件があります。その背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）

1. 年間を通じて雨が極めて少なく、乾燥した気候が稲の成長に適しているため
2. 夏の間も冷涼な偏東風（やませ）が吹くことで、稲の病害虫の発生が抑えられるため
3. 最上川の急流を利用した水力発電により、農業用機械の電力を安価に確保できたため
4. 最上川がもたらす肥沃な土壌と、奥羽山脈などからの豊かな雪解け水が供給されるため

問5　東北地方の地形について述べた次の文の空欄にあてはまる山脈として正しいものを、後の選択肢から一つ選びなさい。「東北地方の中央部には、日本最長の長さを持ち、脊梁山脈とも呼ばれる（　　）が南北に走っている。この山脈は、日本海側と太平洋側の気候を分ける境界としての役割も果たしている。」（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 出羽山脈
2. 奥羽山脈
3. 越後山脈
4. 北上山地

問6　東北地方などの農業において、安価な輸入農産物との競争が激しくなる中、国産品の価値を高めて差別化を図るための取り組みが重視されています。このような戦略の内容として最も適切な説明はどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 大規模な機械化を徹底的に推し進め、輸入農産物と同等の低価格を実現することのみに専念する。
2. 輸送コストを削減するために、都市部の消費地から離れた地域での農業生産をすべて停止する。
3. 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。
4. 海外から安価な種苗を大量に導入し、栽培にかかる初期コストを極限まで抑えて生産量を増やす。

問7　東北地方の各県の場所について説明した次の記述のうち、宮城県の県庁所在地であり、東北地方最大の人口を抱える仙台市が位置する場所として最も適切なものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 東北地方の中央東側の太平洋側に位置し、広瀬川が流れる仙台平野に面した地点
2. 東北地方の最北部に位置し、青函トンネルを通じて北海道と結ばれている地点
3. 東北地方の南西部に位置し、最上川の下流域に広がる庄内平野を持つ地点
4. 東北地方の最南部に位置し、関東地方と隣接している地点

問8　秋田県にある八郎潟という湖を干拓して誕生した大潟村では、日本の平均的な農家と比べて一戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型の農業機械を効率的に活用した生産が行われています。このような大潟村で行われている農業の形態を何と呼びますか。（2022年 香川県公立入試 類似）

1. 施設園芸農業
2. 自給的農業
3. 小規模経営
4. 大規模農業

問9　ある県の産業統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約90人と低く、農業産出額（約1,732億円）のうち米の占める割合が約61%と極めて高いというデータがあります。この県で生産されている「あきたこまち」のような、産地や品質を保証して販売される米の名称を何といいますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 伝統野菜
3. 銘柄米
4. 近郊農業

問10　東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何といいますか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 塩害
2. 干害
3. 冷害
4. 公害

問11　東北地方の日本海側に位置する都市の気候統計に見られる特徴として、正しいものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。
2. 季節風が奥羽山脈によって遮られるため、1月の降水量は100mm未満となり、冬は乾燥して晴天の日が多くなる。
3. 暖流である日本海海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は5度を上回り、雪ではなく雨が多く降る。
4. 冷害の原因となる「やませ」の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならないが、8月の平均気温が24度未満になることが多い。

問12　岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器について、その生産地や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 天童市で生産され、良質なツゲの木を加工して作られる駒が全国的なシェアを誇る。
2. 会津若松市で生産され、金粉や銀粉で装飾を施す蒔絵の技法が有名である。
3. 弘前市を中心に生産され、何層にも塗り重ねられた漆の模様が特徴である。
4. 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。

問13　東北地方の農業と工業の統計的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2026年 長野県公立入試 類似）

1. 大規模な機械化農業により米の産出額は日本一であるが、果実の栽培はほとんど行われておらず、工業化も進んでいない。
2. 果実の産出額が日本で最も多いが、冷害の影響を受けやすいため、米の産出額は西日本諸地域よりも低い。
3. 米と果実の農業産出額がともに高く、農業への依存度が他地方に比べて高いが、工業生産額は関東や中部より小さい。
4. 工業生産額が関東地方を上回っており、農業では米よりも畜産や野菜の産出額の方が高い傾向にある。

問14　岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 静岡県公立入試 類似）

1. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。
2. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。
3. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。
4. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 宮城県	宮城県は東北地方の政治・経済の中心地としての役割を担っています。県庁所在地の仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市であり、多くの企業が集まることで、製造品出荷額や年間商品販売額が他県を大きく上回る突出した値となっています。この統計上の特徴は、宮城県が東北地方における広域中心県であることを示しています。
問2	答え 2 庄内平野 – 大阪	山形県を流れる最上川の河口に広がるのは庄内平野です。江戸時代、この地域で生産された米は酒田港から積み出されました。当時整備された「西廻り航路」は、日本海から下関を経由して瀬戸内海に入り、現在の大阪（天下の台所）へと物資を運ぶルートであったため、目的地は大阪となります。越後平野は新潟県に位置する平野です。
問3	答え 2 ごぼう	この地域は福島県付近の特徴を示しています。中央部に火山や日本有数の深さを誇る猪苗代湖を擁するこのエリアでは、地形や気候に合わせた農業が行われています。特に病害虫の被害を抑えやすい東部の環境を活かして「ごぼう」の栽培が盛んに行われており、地域の重要な特産物となっています。
問4	答え 4 最上川がもたらす肥沃な土壌と、奥羽山脈などからの豊かな雪解け水が供給されるため	庄内平野は、最上川の下流に広がる沖積平野です。米作りには大量の水が必要ですが、この地域では冬の間に山に降り積もった雪が春に溶け出し、最上川などを通じて平野に潤いをもたらします。この「雪解け水」と、川が運んできた栄養豊富な土壌という自然の恩恵に加え、大規模な灌漑施設の整備といった人の努力が組み合わさり、一大稲作地帯となりました。なお、「やませ」は東北地方の太平洋側に冷害をもたらす要因であるため、日本海側の庄内平野には当てはまりません。
問5	答え 2 奥羽山脈	東北地方の中央を南北に貫く奥羽山脈は、約500kmに及ぶ日本で最も長い山脈です。この山脈が障壁となることで、冬には日本海側に大雪をもたらし、太平洋側を乾燥させるという、日本海側と太平洋側の気候の大きな違いを生み出しています。
問6	答え 3 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。	日本の農家は、価格面で有利な輸入農産物に対抗するため、品質や安全面での「付加価値」を高める戦略をとっています。具体的には、農薬の使用を制限して「安全性の向上」を図ったり、誰がどのように作ったかという「生産者情報」を明示したりすることで、消費者から「安心・安全な国産品」としての信頼を得る、いわゆる農産物の差別化が進められています。
問7	答え 1 東北地方の中央東側の太平洋側に位置し、広瀬川が流れる仙台平野に面した地点	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で唯一の政令指定都市です。地形的には、東北地方の太平洋側の中央部に広がる仙台平野に位置しています。これに対し、最北部は青森県、南西部（日本海側）は山形県、最南部は福島県の説明です。
問8	答え 4 大規模農業	大潟村は、かつて日本で2番目に広かった湖である八郎潟を干拓して造られた土地です。計画的に農地が割り当てられたため、農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて圧倒的に広く、大型トラクターやコンバインなどを導入した「大規模農業」が発達しました。これにより、一戸あたりの農業産出額も全国平均を大きく上回る特徴があります。
問9	答え 3 銘柄米	秋田県に代表される東北地方の日本海側では、冬の降雪がもたらす豊かな水資源を活かした稲作が非常に盛んです。消費者のニーズに応えるため、県名などを冠した「あきたこまち」のような銘柄米（ブランド米）の生産に力を入れ、農業産出額の過半数を米が占めるという、単作地帯としての特徴を持っています。
問10	答え 3 冷害	「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。
問11	答え 1 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。	東北地方の日本海側の気候は、冬の季節風によってもたらされる雪の影響で、冬（1月）の降水量が他の地域に比べて多くなるのが大きな特徴です。特に山地や北部では1月の平均気温が氷点下となり、積雪量も多くなります。「1月の降水量が100mm未満」や「8月の平均気温が24度未満（やませの影響）」といった選択肢は、東北地方の太平洋側の気候的特徴と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 4 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。	岩手県の盛岡市と奥州市は古くから鋳物産業が盛んな地域であり、南部鉄器は鉄瓶や鍋などの実用的な道具として発展してきました。現在では、伝統的な黒色だけでなく、海外向けにカラフルな塗装を施したティーポットが生産されるなど、現代のニーズに合わせた工夫も行われています。
問13	答え 3 米と果実の農業産出額がともに高く、農業への依存度が他地方に比べて高いが、工業生産額は関東や中部より小さい。	東北地方は、米の産出額が3600億円、果実が2300億円を超えるなど、農業、特に稲作と果樹栽培に強みを持つ地域特性があります。統計上、他の地方と比較して農業の重要性が高い一方で、製造品出荷額などを指す工業生産額の面では、太平洋ベルトに含まれる関東地方や中部地方などの大規模な工業地帯を持つ地域には及びません。この農高工低のバランスが東北地方の統計を読み解く鍵となります。
問14	答え 2 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。	岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。